

だい き さいわいくくみんかいぎだい かいせんもんぶかい ぶかい
第5期幸区区民会議第2回専門部会 (B部会)

ぎじしだい
議事次第

にあじ ねん がつ にち か じはん
日時 2014年10月28日 (火) 18時半から
ばしょ さいわいくやくしょ かいだい かいぎしつ
場所 幸区役所 5階第2会議室

1 開会

2 議題

(1) 新たな総合計画の策定

(2) 審議テーマに係る今後の取組の方向性の検討

(3) 専門部会名の決定について

(4) 第5期幸区区民会議 (第2回) におけるB部会報告内容について

(5) 今後のスケジュールについて

3 その他

4 閉会

《配布資料》

しりょう しんぎて ま こうれいしゃ しょうがいしゃ く まち じづげん およ
資料1 審議テーマ「高齢者・障害者の暮らしやすい街の実現」及び
ちいきこみゅにていかつどう かっせいか かんとりくみじょうきょう
「地域コミュニティ活動の活性化」に関する取組状況

しりょう さいわいくくみんかいぎ ていあん とりくみ
資料2 これまでの幸区区民会議の提案と取組

しりょう せんもんぶかいめい けってい
資料3 専門部会名の決定について

しりょう だい き さいわいくくみんかいぎ だい かい ぶかいほうこくないよう
資料4 第5期幸区区民会議 (第2回) におけるB部会報告内容について

しりょう だい き さいわいくくみんかいぎ す け じ ゆ ー る あん
資料5 「第5期幸区区民会議」スケジュール (案)

《第2回専門部会 (B部会) 獲得目標》

- ・審議テーマに係る今後の取組の方向性の決定
- ・専門部会名の決定
- ・第5期幸区区民会議 (第2回) におけるB部会からの報告者及び報告内容の決定

審議テーマ「高齢者・障害者の暮らしやすい街の実現」及び「地域コミュニティ活動の活性化」に関する取組状況

委員の意見要旨	川崎市・幸区の主な取り組み	他区・他都市の主な先行事例（別紙参照）	他区・他都市の主な先行事例のポイント
(1) 地域ぐるみの見守り、支え合いの環境づくり	<p>① 地域包括支援センター等の関係団体と連携した冊子の作成（2014年度中に作成）</p> <p>②ひとり暮らし高齢者の安否確認と話し合いの機会を増やす「ひとり暮らし等高齢者見守り事業」</p> <p>③老人クラブと連携した「ふれあい＆すこやか事業」の実施</p> <p>④認知症の理解をすすめるため「認知症サポートー養成講座」の開催</p> <p>⑤子育て家庭の孤立を防ぎ、安心して子育てできる地域づくりを推進する「こんにちは赤ちゃん事業」</p> <p>⑥地域の子育てサポート等で活躍する人材を育成する「すくすく子育てボランティア活動支援」事業</p> <p>⑦子どもの登下校時の防犯を強化する「安心・安全のハトロール」事業</p> <p>⑧幸区社会福祉協議会が運営する住民交流活動拠点「陽だまり」</p> <p>⑨地区組織と共に健康づくり活動を推進する「健康長寿推進事業」</p> <p>⑩高齢者の集まりによる介護予防事業の実施「介護予防グループ支援事業」</p> <p>⑪医師会や学校、子ども会などと、健康づくりや地域の課題について協議する「幸区健康づくり推進会議」の開催</p> <p>⑫地域包括支援センターや民選委員、町内会等と、身近な地域課題の抽出と検討を行う「地域ケア連絡会議」の開催</p> <p>⑬子育て支援関係機関や団体と、連携を深めるための情報交換を行う「幸区こども総合ネットワーク会議」の開催</p>	<p>ア 様々な主体の参加による高齢者のくらし「みまもりたい」【静岡市】</p> <p>イ 商店街拠点とした高齢者との助け合いの組みづくり「街のお助け隊 コンセルジュ」【品川区】</p> <p>ウ 民間施設を活用した健康づくり事業の展開【調布市】</p> <p>エ 地元関係者の参画による地域包括ケア「あおばモデル」の構築に向けた検討【横浜市青葉区】</p> <p>オ 災害時高齢者助け合いマップとネットワークづくり【世田谷区の町会】</p> <p>カ 買い物タクシーの運行による高齢者の買物支援（運営費は自治会で負担）【北九州市の自治会区会】</p> <p>キ 高齢者や障害者の家族、子育て中の母親が気軽に集まれる場「ダイヤモンドクラブ」【宮前区】</p> <p>ク コミュニティカフェでの交流の場づくりと生活支援「みた・まちリカフェ」【多摩区】</p> <p>ケ 地域の皆さんが気軽に立ち寄り、おしゃべりや活動を楽しめる憩いの場「まちの縁側」【川崎区】</p>	<p>a. 多様な主体との連携（商店街などの地域団体、NPO等）</p> <p>b. 地域の高齢者情報などの把握</p> <p>c. 高齢者の移動支援</p> <p>d. 地域拠点づくり、居場所づくり</p>
(2) 町内会の加入促進	<p>①町内会加入促進チラシの作成</p> <p>②町内会連合会ホームページ等による情報発信</p> <p>③新規大規模マンションの建設等に伴う自治会組織の設立支援（手引書の作成等）</p>	<p>ア 町内会加入促進事例集の発行【横浜市等】</p> <p>イ 加入促進コナーを設置して転入者にPR【北九州市の自治会連合会】</p> <p>ウ 町内会入会届のファックスやメールの活用【横浜市の町内会】</p> <p>エ 活動に関わる程度によって入会できる仕組みの構築【相模原市の自治会】</p>	<p>a. 様々な取り組みの周知</p> <p>b. 転入者への周知</p> <p>c. 加入手続きの負担軽減</p> <p>d. 柔軟な入会の仕組み</p>
(3) 町内会役員の担い手育成等	<p>①担い手育成を目的とした活性化講座の開催（2015年2月実施予定）</p> <p>②負担軽減のための回観依頼物等の一括配達</p>	<p>ア 役員活動費の支払い【世田谷区の町会】</p>	<p>a. 役員の負担軽減、担い手づくり</p>
(4) 活動の活性化（町内会活動等への多様な世代の参加等）	<p>①町内会対抗のスポーツ大会、リレーカーニバル、清掃活動等、様々な地域行事への支援の実施</p> <p>②市民活動団体向けの活動支援コーナーの設置</p>	<p>ア リタイア後の団塊世代の地域回帰・地域参加支援（団塊世代等地域参加支援デスクの設置、「お父さんお帰りなさいパーティ」などのイベント実施）【八王子市】</p> <p>イ 専修大学と連携した、広場を活用した地域活性化に向けた長沢まちづくり協議会の取組（イベントなど）【多摩区】</p>	<p>a. 団塊世代の活用</p> <p>b. 多様な主体との連携（大学、商店街などの地域団体、企業、NPO等）</p>

「他区・他都市の主な先行事例」補足説明

1 地域ぐるみの見守り、支え合いの環境づくり

(ア) 高齢者のくらし「みまもりたい」

実施場所：静岡市、実施主体：民生委員児童委員協議会及び地域包括支援センター

- ・見守りに賛同する地域住民、企業、商店は、「高齢者のくらし『みまもりたい』となり、外から見えるところにステッカーを張ります。
- ・また、「みまもりたい」が高齢者のいつもと違う様子に気が付いた際には、適切な相談につなげます。



ステッカー

(イ) 商店街を拠点とした高齢者の助け合いの仕組みづくり「街のお助け隊 コンセルジュ」

実施場所：品川区、実施主体：中延商店街振興組合

- ・地元の高齢者のちょっとした困りごと（電球の交換、庭木の手入れ、軽修理、買物補助、商店街から自宅までの配達サービスなど）を有償ボランティアが支援しています。
- ・有償ボランティアは登録制となっており、対価として区内共通商品券がもらえます。

(ウ) 民間施設を活用した健康づくり事業の展開

実施場所：調布市、実施主体：各地域活動団体等

- ・介護予防のための健康づくり事業として、様々な事業が展開されています（下表は一部事業の抜粋）。
- ・財源は、利用者自己負担及び行政からの補助金により運営しています。

主な健康づくり事業の概要

健康づくり事業名（いずれも有料）	事業概要
飲食店活用高齢者ミニディ	飲食店を活用して、カラオケなどの趣味・生きがい活動を行います。
フィットネスクラブ活用事業	民間施設を活用して、筋力運動を行います。
いきいき将棋同好会	公衆浴場の営業時間前を活用して、将棋を指し、指先や頭を使うことで健康維持につなげます。
いきいき麻雀	民間の麻雀教室を活用して麻雀を行い、指先や頭を使うことで健康維持につなげます。

ティー ポット サロン

民間施設を活用したサロンで体操、クラフト、昼食会、講演などのプログラムやおしゃべりを楽しめます。男性向け料理教室も行っています。

(I) 地元関係者の参画による地域包括ケア「あおばモデル」の構築に向けた検討

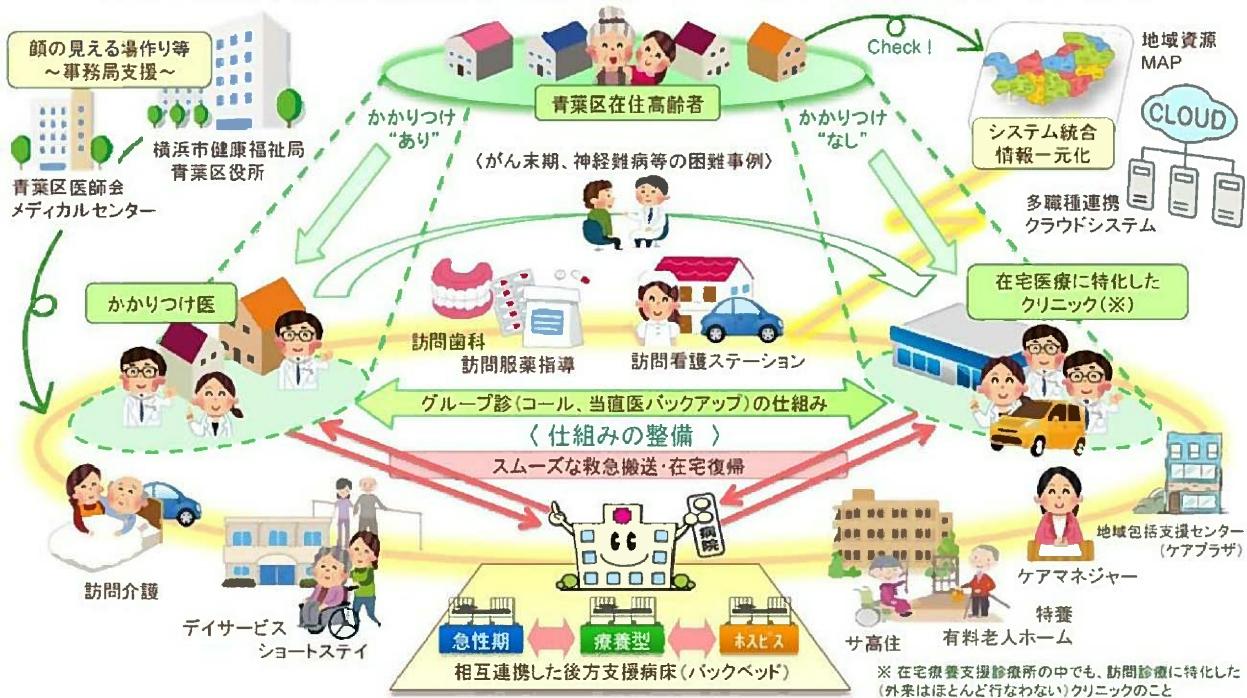
実施場所：横浜市青葉区、実施主体：「次世代郊外まちづくり」青葉区医療・介護連携の地域包括ケアシステム推進部会

- 2012年4月に横浜市と東急電鉄の間で、横浜市内の東急田園都市線沿線エリアの郊外住宅地の少子高齢化、住宅やインフラの老朽化、コミュニティの希薄化などの課題への対応策を検討する「次世代郊外まちづくり」の推進に関する協定が締結されました。
- 締結をきっかけに、地元医療福祉関係者（医師会、区内病院、介護事業者連絡会、社会福祉法人など）、東急電鉄、横浜市などから構成される「医療・介護連携の地域包括ケアシステム推進部会」が設立され、地域包括ケアシステムの仕組み（あおばモデル）の構築を目指して、高齢者が住み慣れた地域で、安心して、自分らしく生活送ることができる、在宅医療と介護が連携した地域包括ケアシステムの仕組みを、地域の実情に沿いながら医療・介護関係者と行政が連携して構築していくことを目的に検討を行っています。



これらのプロジェクトの推進を通じ、
在宅医療を軸とした地域包括ケア「あおばモデル」を構築することを目指します！

- 部会キックオフから5年後、2017年度までに構築を目指す。
自分らしく活き活きとした高齢期の安心の基盤となる、青葉区民の暮らしのインフラとしての地域包括ケア「あおばモデル」。
- 2014年度以降の横浜市在宅医療連携拠点事業の実施区候補として、この「あおばモデル」推進を位置づけています。



「あおばモデル」のイメージ

(オ) 災害時高齢者助け合いマップとネットワークづくり

＜実施場所：世田谷区、実施主体：桜丘1丁目町会＞

- ・平成17年10月から災害時における高齢者の助け合いマップとネットワークづくりを行い、お年寄りの方が安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。
- ・対象者は75歳以上で、介助が必要な一人暮らし又は夫婦世帯で、登録者に対して協力員が災害発生時の安否確認、災害発生時の救出・救護、災害発生時の避難誘導をするほか、日常の穏やかな見守り、困ったときの相談にも対応しています。

(カ) 買い物タクシーの運行による高齢者の買物支援

＜実施場所：北九州市、実施主体：若葉自治区会＞

- ・若葉自治区会では、高台の戸建て地域が便が悪いことから、自治区会独自の事業（個人の利用料以外は自治区会負担）として月2回、近所のスーパーまで1往復100円で乗れる「買い物タクシーサービス」を行っています。
- ・市民センターと自治区会内の集会所の2ヶ所で乗ることができ、帰りは買い物の荷物があるため、自宅で降車する仕組みにしています。
- ・足腰の悪い人の買い物支援だけでなく、高齢者の外出の機会を作ったり、コミュニケーションの場となっています。

(キ) 高齢者や障害者の家族、子育て中の母親が気軽に集まれる場「ダイヤモンドクラブ」

＜実施場所：宮前区、実施主体：ボランティアグループすずの会＞

- ・地域の中で孤立しがちな高齢の方や障害を持つ方、子育て中の母親が気軽にお付き合いできる場です。
- ・緩やかな信頼関係づくりを心がけているため、あえて定期的な開催日時は決めていません。また、ご近所の繋がりを大切にするため、ダイヤモンドクラブへ参加される方には個人宅の開放をお願いしています。
- ・こうしたご近所単位での集まりは、防災・子育て・認知症予防・介護者支援にも繋がっています。

(ケ) コミュニティカフェでの交流の場づくりと生活支援「みた・まちもりカフェ」

＜実施場所：多摩区、実施主体：三田サポートわなり＞

- ・専門職や、地域での子育て経験者、介護経験者がスタッフとして、介護保険では対応できない生活支援や困り事の相談に応じています。
- ・カフェを拠点として、高齢者の生活支援、高層階に暮らす方の住み替え支援、高層階の空き家を利用した若者対象のシェアハウス事業、空き家管理などを行なながら、いずれの世代にとっても住みやすいまちづくりを目指しています。

(ケ) 地域の皆さんが気軽に立ち寄れ、おしゃべりや活動を楽しめる憩いの場「まちの縁側」

＜実施場所：川崎区、実施主体：各地域活動団体＞

- ・地域の皆さんが気軽に立ち寄れ、おしゃべりや活動を楽しめる憩いの場です。
- ・個人宅や町内会館等、現在、川崎区内13ヶ所（2014年4月1日時点）で開催しています。

2 町内会の加入促進

(7) 町内会加入促進事例集の発行

じっしょしょ よこはましなど じっしゅたい ぎょうせい ちようないかいれんごうかい
＜実施場所：横浜市等、実施主体：行政、町内会連合会など＞

- ・町内会の取り組み内容を収集し、事例集として行政などが発行しています。
- ・町内会の運営にあたって、参考となる資料です。

(8) 加入促進コーナーを設置して転入者にPR

じっしょしょ きたきゅうしゅうし じっしゅたい こくらきたくじちそうれんごうかい
＜実施場所：北九州市、実施主体：小倉北区自治総連合会＞

- ・企業が多いことや単身世帯用を含むマンションが多く、転入・転出者が多いことを踏まえ、区役所における「自治会加入促進キャンペーン」を実施しています。
- ・毎年、転入者の多い3～4月にかけて、区役所ロビーに自治会加入促進コーナーを設け、各自治会の輪番制で会長や役員が出席し、10～15時まで、自治会の意義や活動内容を説明しています。

(9) 町内会入会届のファックスやメールの活用

じっしょしょ よこはまし じっしゅたい ひがしやまださんちゅうめちようないかい
＜実施場所：横浜市、実施主体：東山田三丁目町内会＞

- ・集合住宅の加入促進に取り組む中で、気軽に入会してもらう工夫として、ファックスやメールで入会できるようにしています。

(10) 活動に関われる程度によって入会できる仕組みの構築

じっしょしょ さがみはらし じっしゅたい こやまにちゅうめじちかい
＜実施場所：相模原市、実施主体：小山二丁目自治会＞

- ・自治会活動に関心が薄く、定住者が少ないとから未加入世帯が多くなりがちなマンション、賃貸アパートの居住者を「特別会員」、地域内の事業者を「賛助会員」、常時活動への参加が難しい会員などを「協力員」として、それぞれの会員の立場やライフスタイルに合わせて、活動への参加や協力ができる方法を定めています。
- ・マンションや賃貸アパートなどの入居者を対象とした、「特別会員」からは、活動には参加しない代わりに、防犯灯の維持管理など受益相当分について、経済面での協力をお願いしています。
- ・大型ショッピングセンターがお店する際には、「賛助会員」として入会してもらい、地域貢献の約束を交わし、その一環として、花火大会の開催にあたって、屋上駐車場の解放、景品の提供などをお願いしています。
- ・積極的に活動したい会員や役員OB、活動に常時参加できない会員も、イベントごとに参加できるよう「協力員」として登録することができます。

3 町内会役員の担い手育成等

(7) 役員活動費の支払い

じっしょしょ せたがやく じっしゅたい さくらじょうすいっちょうめちようかい
＜実施場所：世田谷区、実施主体：桜上水一丁目町会＞

- ・役員はすべてボランティアという考え方を改め、町会会員が町会外で活動した場合は、交通費の実費と活動費を支給することにしています。また、防犯パトロール（掲示板のメンテナンスも同時に実施）の場合も障害保険と活動費を支給しています。

4 活動の活性化（町内会等への多様な世代の参加等）

(ア) リタイア後の団塊世代の地域回帰・地域参加支援（「団塊世代等地域参加支援デスク」の設置、

「お父さんお帰りなさいパーティ」の実施)

＜実施場所：八王子市、実施主体：行政／NPO法人八王子市民活動協議会＞

・「団塊世代等地域参加支援デスク」は団塊世代やシニア世代に、生きがいを持ちながら地域で活動

してもらうための支援を行う総合的な相談窓口です。主な業務内容は、「地域参加に関するさまざまな情報の提供」、「地域参加を希望する市民の相談受付、コーディネート等」、「イベントや講座等の開催による地域参加に関する啓発やきっかけづくり」となっています。

・「お父さんお帰りなさいパーティ」はシニアに八王子で新しいセカンドライフの世界を見つけてもらいたいとの目的から年に1度開催されているイベントです。イベントではセカンドライフでの活躍の場となりうる市内の市民活動に関する紹介などが行われています。

(イ) 専修大学と連携した、広場を活用した地域活性化に向けた取組（イベントなど）

＜実施場所：多摩区、実施主体：長沢まちづくり協議会＞

・「通りすがりのまち」から「魅力のあるまち」という目的で、住民などの有志が集まり、長沢

まちづくり協議会を設立しました。

・専修大学とも連携し、協議会が「長沢ひろば」という施設を地域コミュニティの醸成のために管理運営を行っています。レンタルショーケース・レンタルルームの管理、各種講座、イベントなどを開催しています。

これまでの幸区区民会議の提案と取組

年度	組織名	主な取り組み	実施年		担当課	実施場所	実施内容
			年度	年月			
第1期(2006年7月～2008年6月)	審議テーマ	くみんかいぎ 区民会議からの提案	ていあん	どくぐみ しもん 市民	しあわせ ぎょうせい 行政	ていあん かんするおし	どくみじょうきょう 提案に関する主な取組状況
◆地域防災活動 すいしん の推進	くない ひなんしょ ひなんしょらんえいかいぎ た あ ひなんしょ 区内の避難所で避難所運営会議を立ち上げ、避難所 うんえいくんれん じゅし 運営訓練を実施する。	○ ○	かくひなんしょ ・各避難所における避難所運営会議の設置と、避難所開設訓練の じつし 実施(2007年7月～)	ひなんしょらんえいかいぎ せっち ほうさいせんじんこ んさるしたんと かつよう ひなんしょかいせつ うんえいくんれん じゅし ・防災専門コンサルタントを活用した避難所開設・運営訓練の実施 ねんど かしょ じゅしょてい (2014年度は7箇所の実施予定)	ひなんしょらんえいかいぎ せっち ほうさいふくあ かいさい ・防災啓発事業として「防災フェア」を開催(2008年1月～)		
◆魅力づくり しもんかつどう 市民活動の すいしん 推進	ひなんしょらんえいかいぎ みんせいいいんに どういいんさうき しゃかい 避難所運営訓練に、民生委員児童委員協議会、社会 ふくしきょうさかななど さんか はか ようえんごしや あんひかくにんなど 福祉協議会等の参加を図り、要援護者の安否確認等 しょんじんせいじ 支援体制づくりを進め。また、自主防災組織に テナ じしゅばうさくじ みんせいいいん じどういんきょうかい しゃかいかぶくじょうかいかう 民生委員・児童委員協議会、社会福祉協議会等の さんか はか 参加を図る。 こべつひなんしょらんえいかいぎ に や ある けんどう も で る 個別避難所運営マニュアル検討などのためのモデル ひなんしょ せっち となる避難所を設置する。	○ ○	ひなんしょらんえいかいぎ た あ さい ・避難所運営会議立ち上げの際に「避難所運営マニュアル」を提供し ひなんしょ ま に ゆ ある さくせい て、避難所ごとのマニュアル作成の参考資料として活用 ひなんしょらんえいかいぎ ま に ゆ ある ・避難所運営マニュアルのDVDを制作し、避難所運営会議での運営 ま に ゆ ある けんどうじ かつよう マニュアルの検討時に活用	ひなんしょらんえいかいぎ ま に ゆ ある ていこう ・「防災フェア」や避難所運営会議において、災害時の避難所等にお ひなんしょらんえいかいぎ せっち ける食品衛生、感染症等の発生予防を図る啓発リーフレットを はいふ 配布			
◆身近な地域での こうれいしゃ けんこう 高齢者の健康 づくり	ひよし ひよしちく かわせしん し日ん かわきょう れきし ふんがく 各団体が横につながる取組を進める。 とりくみ も で る 【取組モデルその①】 ひふしきく ち きわいきょう かせやま ゆめみがさこうえん やがみがわ 吉地区の地資源(加瀬山、夢見ヶ崎公園、矢上川 など い ねっとわく) 等)を活かしたネットワークづくり	○ ○	・「日吉のわく(日吉地区を中心とした自然・環境・歴史・文化等の ぶんや かくどう ないうき だんない ちゅうしん ないきしげん かつよう 分野で活動している地域の団体)」を中心とした地域資源の活用 すいしん 推進	ひなんしょらんえいかいぎ さいがいじ ひなんしょらんえいかいぎ ・「防災フェア」や避難所運営会議において、災害時の避難所等にお ひなんしょらんえいかいぎ せっち ける食品衛生、感染症等の発生予防を図る啓発リーフレットを はいふ 配布			
◆魅力づくり しもんかつどう 市民活動の すいしん 推進	ひめ ひめしちく た ち い き だんない れんげい 各団体が横につながる取組を進める。 とりくみ も で る 【取組モデルその②】 ゆめ しわく かわせ だんじ きょうりょく 「夢・こなさと」の出張など、他の団体との協力、 きょうじゅん ひろ みりょく 協賛することで広がる魅力づくり	○ ○	・「夢・こなさと実行委員会」と、他の地域団体との連携による、 ゆめみがさきうさん やがい ねん がつ 夢見ヶ崎公園での野外コンサート(2007年7月)や、さいわい健康 ふくしまがらざ わん がん ないきそだ しえんせんたー 福祉プラザ(2009年8月)、地域子育て支援センターふるいちば ねん がつ (2010年6月)での実施	・「夢・こなさと実行委員会」と、他の地域団体との連携による、 ゆめみがさきうさん やがい ねん がつ 夢見ヶ崎公園での野外コンサート(2007年7月)や、さいわい健康 ふくしまがらざ わん がん ないきそだ しえんせんたー 福祉プラザ(2009年8月)、地域子育て支援センターふるいちば ねん がつ (2010年6月)での実施			
◆安心して子育て かんこう できる環境づくり	ち い き ち い う じ そしん どくぐみ す す 地域での健康維持・増進の取組を進める。 けんこう かいごよほう じょうほほしん す 健康づくり・介護予防の情報発信を進める。	○ ○	・「健康長寿推進事業」による、地域での健康づくり活動の推進 なんど (2008年度～)	・「保健福祉センターだより」を活用した、各種講座等の情報発信			
◆安心して子育て かんこう できる環境づくり	こ あんしん あんしん あそ いはしょ こそだ こりから は 子どもも安心・安全に遊べる居場所、子育て交流の場 すす づくりを進める。	○ ○	・ち い こ こ そ だ し し え ン せ ン た ー た い ど う よ か い し い ・地域子育て支援センターふるいちばの第3土曜日開所の継続 じっし ・地域子育て支援センター等を活用した子育て支援講座等の実施 なんど (2011年度～)	・ち い こ こ そ だ し し え ン せ ン た ー た い ど う よ か い し い ・地域子育て支援センターふるいちばの第3土曜日開所の継続 じっし ・地域子育て支援センター等を活用した子育て支援講座等の実施 なんど (2011年度～)			
◆安心して子育て かんこう できる環境づくり	よ き お お がく お や こ い け ん こ く く た 読み聞かせや音楽の親子体験など、子どもの豊かな ごころ つかか きか ふ 心を培う機会を増やす。	○ ○	・くないほくえん ふんか ・区内保育園における園庭開放及び区内保育園、こども文化 せんたー ち い こ こ そ だ し し え ン せ ン た ー え ほん よ かた とう じ し し センター、地域子育て支援センターでの絵本読み語り等の実施 なんど (2008年度～)	・くないほくえん ふんか ・区内保育園における園庭開放及び区内保育園、こども文化 せんたー ち い こ こ そ だ し し え ン せ ン た ー え ほん よ かた とう じ し し センター、地域子育て支援センターでの絵本読み語り等の実施 なんど (2008年度～)			
◆安心して子育て かんこう できる環境づくり	こ そ だ か ん に 一 す は あ く こ そ だ じ ょ ほ う は っ し ン 子育てに関するニーズの把握と子育て情報の発信を じゅうじつ 充実させる。	○ ○	・「おこさまっぷさいわい(2010年度リニューアル)」等の子育て情報誌 はつとう の発行 ち お お か じ し ほ う し は っ こ う ・父親向け情報誌の発行(2013年度～)	・「おこさまっぷさいわい(2010年度リニューアル)」等の子育て情報誌 はつとう の発行 ち お お か じ し ほ う し は っ こ う ・ヘルパー養成講座の実施(2008年1月)			
◆安心して子育て かんこう できる環境づくり	こ そ だ さ ほ ー と へ る ば ー ふ は たら 「ふれあい子育てサポート」のヘルパーを増やし、働く かわ う そ こ そ だ さ ぼ ー と お母さん・お父さんの子育てをサポートする。	○ ○	・ヘルパー養成講座の実施(2008年1月)				

期間	審議テーマ	区民会議からの提案	取り組みの主体		提案に関する主な取組状況
			市民	行政	
第1期(2006年7月～2008年6月)	◆地域でのごみ減量・リサイクル	ごみを減らす取組として、マイバッグの利用を促進する。	○	○	「さいわいマイバッグ」を作成・配布(平成25年度追加作成)
		「出前ごみ講座」等を開催を増やして、地域で3Rの取組を知つてもらう。	○	○	・町内会・自治会において、「出前ごみ講座」を実施(2008年度～)
		地域での「資源集団回収」活動を広める。	○	○	・資源集団回収活動の地域別の実施情報等を掲載した「資源集団回収ガイド(外国人市民向けもあり)」を作成し、区役所での転入手づけ時や、区内公共施設で配付(2009年3月～)
第2期(2008年7月～2010年6月)	◆自転車に関わる交通安全	自転車が安全に走行できる環境づくりを進める。	○	○	・川崎駅周辺(2012年度)、新川崎地区(2010年度)において、自転車レーンを整備
		交通ルール・自転車利用マナーを学び理解する取組を広める。	○	○	・小中学生、高齢者を対象とした交通安全教室の開催
		交通ルールや自転車利用マナーの違反者に、守るなどを呼びかける取組を行う。	○	○	・自転車マナーアップキャンペーンの実施
第3期(2010年7月～2012年6月)	◆地域防犯活動の推進	地域での防犯活動をもつと知つてもらう。	○	○	・「わんわんパトロール」の実施(2009年度～)
		地域が青少年に関心を持ち、青少年が犯罪の加害者・被害者にならないようにする。	○	○	・地域団体の活動との連携や、市政など活用した「あいさつ運動」の実施(2010年度～)
		大人世代の自転車利用者への意識向上の働きかけを強化する。	○	○	・府島田駅周辺において、地元町内会・自治会、商店会、小中学校と連携した放置自転車対策等の啓発(2010年度～)
第3期(2010年7月～2012年6月)	◆自転車通行のマナー向上	おとなせだいじてんしゃりょうしゃいしきこじょうはたらかぎりのまなぶを強化する。	○	○	・転入者向けリーフレットの配布(2009年度～)
		町内会・自治会活動の魅力と必要性を伝える。	○	○	・幸区町内会連合会のホームページによる情報発信(2009年度～)
		大規模マンション居住者の町内会・自治会への加入実態を把握する。	○	○	・大規模マンション居住者を対象とした加入実態調査の実施(2009年度)
第3期(2010年7月～2012年6月)	◆地域コミュニティ活動の推進	夢見ヶ崎周辺の緑環境や歴史的資源を守り育て、新旧・世代の住民が集い、交流する、コミュニティ活動の拠点とする。	○	○	・地元町内会・自治会等により構成する検討協議会を設置し、夢見ヶ崎公園の魅力向上に向けた検討(2010年6月～2014年3月)の実施等、協議会の検討を踏まえた整備(2011年度～2014年度)
		ゴミの分別方法に対し、区民の目線に立ったわかりやすい情報提供を行い、ゴミの分別を徹底し、地球環境への意識向上を図る。	○	○	・リエーカーナーバル、幸区民祭において、区民会議のブースを設け、ゴミ分別ゲームを実施(約260人が参加、2011年度実施)
		定期的かつ継続的な意識啓発活動を展開し、区民の自転車マナー向上を促進する。	○	○	・区内13の小中学校でゴミ分別講座を開催(約900人が受講、2011年度実施)
第3期(2010年7月～2012年6月)	◆高齢者のサポート体制と地域コミュニティ	高齢者など支援を必要とする方々のため、区内に「地域交流の場」や「日常生活のサポート窓口」の情報発信を進めること。	○	○	・区内200人が参加、2011年度実施
		夢見ヶ崎公園周辺が多世代交流の場となるよう、子どもを中心としたイベントなどを継続的に実施する。	○	○	・地域交流等についての情報を掲載した「さいわい広報特別号」の発行(2014年7月)
		夢見ヶ崎公園周辺で多世代交流の場となるよう、子どもを中心としたイベントなどを継続的に実施する。	○	○	・利用者のニーズ把握調査の実施(2011年度)
		「夢こんさと」と連携したイベント(「夢の星空コンサート」)の実施(2012年7月)	○	○	・「夢こんさと」と連携したイベント(「夢の星空コンサート」)の実施(2012年7月)

期	しんきてーま 審議テーマ	くみんかいぎ 区民会議からの提案	とりくみ 取組の主体		ていあん 提案に関する主な取組状況
			しみん 市民	しゅたい 行政	
第4期 (2012年7月～2014年6月)	◆地域防災力の向上	じしんなど さいがい そな まいぼうさいまつぶ 地震等の災害に備え、「マイ防災マップ」づくりなどの取り組み すいしん ほうさといしき ちいきほりいりく こうじょう ほか 取組を推進し、防災意識や地域防災力の向上を図る。	○	○	ちゅうがつこう れんけい まいぼうさいまつぶ わーくしょつぶ じっし ・中学校と連携して「マイ防災マップ」づくりのワークショップを実施 (2013年度) じしゃぼうめいをしき まいぼうさいまつぶ じっし よ ・自主防災組織へ「マイ防災マップ」づくりの実施の呼びかけ (2014年度～)
	◆自転車ルール 順守の推進	すばーつちーむ れんかく こうふうしゃ かつとう スポーツチームとの連携や、公用車の活用などによる、自転車ルールの順守に向けた効果的な啓発活動じっし を実施する。	○	○	はる あさ びんごくこうつうあんぜんどう より なつ ふゆ こうつうじ こぼうしうんどう さ ・「春・秋の全国交通安全運動」及び「夏・冬の交通事故防止運動」期間中の、清掃車を活用した、自転車ルール順守の呼びかけの実施(2014年4月～) じてんしゃるーるじゅんしゆよ こうぼうとくべつごう はつこう ・自転車ルールの順守を呼びかけた「さいわい広報特別号」の発行 (2013年9月)
	◆地域の見守り 体制づくり	すけあーど すとれーとぼうしき こうかでき じてんしゃ スケアード・ストレート方式による、効果的な自転車こうとうあんせんようしき じっし 交通安全教室を実施する。	○	○	すけあーど すとれーとぼうしき かつとう じてんしゃこうつうあんせんようしき じっし ・スケアード・ストレート方式を活用した自転車交通安全教室を実施 (2013年10月、2014年度以降も実施予定)
		ぐ こうねいじやなど いへん み ぼあい たいじよひとり暮らし高齢者等の異変を見つけた場合の対処はうきょう さっし さくせい かつとう 方法などをまとめた冊子を作成・活用し、見守り活動みまも かつどう すその かくたい の裾野を拡大する。 みまも かつどう かん さぼーと そうだんまだぐち 見守り活動に関するサポートなどの相談窓口や、じょうほうはつん じょうじつ 情報発信を充実する。	○	○	ちいきほりいりくせんせんたーなど かんけいいたんたい れんげい きつし さくせいかん ねん がつ ねんどいこう じつじよてい ・地域包括支援センター等の関係団体と連携した冊子の作成 (2014年度予定) じょうほうはつん じょうじつ 3 ・「保健福祉センターだより」等を効果的に活用した見守りに関する情報発信の実施

専門部会名の決定について

1 部会名の考え方

部会名は「地域コミュニティ活動の活性化」を中心としながら、「高齢者・障害者の暮らしやすい街の実現」も包含した部会名とする。

2 部会名を決めるにあたってのキーワード

地域コミュニティ、活動の活性化、暮らしやすい、地域力、見守り、支えあい(愛)

3 部会名候補 (案)

(1) 地域コミュニティの活動の活性化部会

(2) 暮らしやすい地域社会の構築部会

(3) 地域コミュニティの充実と誰もが暮らしやすい街づくり部会

(4) 地域力の強化で(と)見守り体制の構築部会

(5) 区民の暮らしやすい街のネットワーク作り部会

(6) 地域で支える安心部会 (事務局案)

(7) 暮らしやすいまちづくり部会 (事務局案)

(8) 地域力で暮らしやすいまち部会 (事務局案)

(9) 地域の力でいきいき部会 (事務局案)

(10) 地域の力で支え愛部会 (事務局案)

(参考) これまでの部会名

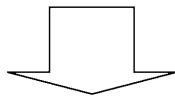
	部会名	審議テーマ
第一期	安全・安心すこやか部会	地域防災活動の推進
	子育て・環境・魅力づくり部会	市民活動と魅力づくりの推進
第二期	安全・安心・生きがい部会	地域防犯活動の推進
	子育て・環境・魅力づくり部会	地域コミュニティ活動の推進
第三期	環境部会	地域におけるエコ・環境の推進
	安心・思いやり部会	高齢者サポート・地域コミュニティ
第四期	暮らしの安全部会	防災・自転車マナーに関するこ
	みんなで見守りたい部会	地域での見守り体制づくり

だい き さいわいくくみんかいぎ だい かい
第5期幸区区民会議（第2回）におけるB部会報告内容について

1 報告の内容骨子

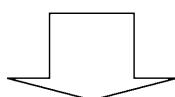
(1) 審議テーマの選定について

「高齢者・障害者の暮らしやすい街の実現」「地域コミュニティ活動の活性化」「地域におけるエコ活動の推進」「青少年の健全育成等」「地域の魅力発信」「交通アクセスの向上」の6つの審議テーマ案をもとに検討し、「高齢者・障害者の暮らしやすい街の実現」と「地域コミュニティ活動の活性化」を組み合わせたテーマに決定したことを報告する。



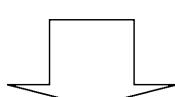
(2) 部会名及び部会長等の決定について

決定した「部会名」「部会長」「副部会長」について報告する。



(3) 幸区・他都市における取組状況の調査について

方向性を検討するにあたり参考とした他都市事例等について報告する。



(4) 審議テーマに係る今後の取組の方向性について

「議題(2) 審議テーマに係る今後の取組の方向性の検討」での委員意見など検討内容について報告する。

2 報告者

《報告者》

委員

※第1回企画運営会議（11月17日（月）18:30～）に出席できる委員が望ましい。

だいきさいわいくみんかいぎ
あんねんがつにちじてん
●「第5期幸区区民会議」スケジュール案(2014年10月28日時点)

しりょう
資料5

	2014年度												2015年度												2016年度
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4~6月			
■区民会議 (全体会議)	第1回 7月31日									第2回 12月3日			第3回						第4回			第5回		第6回	
■企画運営会議				第1回 11月17日			第2回						第3回			第4回			第5回			第6回			
事前説明会																									第5期区民会議のフォーラムの開催 報告書のとりまとめ
■専門部会 A部会	第1回 10月1日	第2回 10月31日			第3回	第4回	第5回			第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回								
B部会					第1回 9月30日	第2回 10月28日				第3回	第4回	第5回			第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回			